

2018年度 入社式 社長挨拶

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、2018年4月2日に入社式を行いました。
社長挨拶の主旨は以下のとおりです。

日本生命に入社された皆さん、心からお祝い申し上げます。

私は、昨日付けで社長に就任した清水です。皆さんと同じく、新鮮な気持ちで新しい年度のスタートを切りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

<日本生命の歴史と経営基本理念>

日本生命は、1889年、明治22年の創業から今日まで、「共存共栄」「相互扶助」という生命保険事業の基本精神を受継ぎ、「信念」「誠実」「努力」、の3つの信条を経営基本理念の根幹とし、お客様の利益を最優先に考え、長期的な視点から堅実な経営を行ってきました。

長い歴史の間には、度重なる大震災や金融危機等に直面したこともありますが、先人や先輩方はこの困難に真正面から取り組み、保険会社としての使命を果たすことでお客様から信頼を獲得してきました。

<日本生命のこれからの方向>

日銀のマイナス金利政策による超低金利の継続、人口減少や高齢化の進展、デジタル化や先端ITの急速な展開等により、生命保険会社を取巻く環境は大きく変化し、当社の収益と事業構造にも大きな影響を与えています。しかし、こうした変化を、むしろ積極的に取込み、成長の原動力にしていく姿勢を持ちたいと思います。そこで、「成長し続ける事業基盤を作り、揺るぎないマーケットリーダーに成る」ことを日本生命の目指すべき方向としたいと思います。

この実現に向け、現在、2020年度までの4カ年の中期経営計画「全・進 -next stage-」に取り組んでいます。この計画では「人生100年時代をリードする日本生命グループに成る」ために、3つの具体戦略を掲げています。

1点目は、「超低金利下での収益確保」です。日本生命の強みであり、販売の中核を担う5万名の営業職員組織を安定的に維持するとともに、代理店と金融機関における販売シェアを上げるべく、商品供給力の向上と、サポートの強化に取組みます。

2点目は、「グループ事業の収益拡大」です。国内外の生命保険事業とアセットマネジメント事業を中核として、グループ事業を拡大しています。すでにグループ会社間で、ノウハウの共有や人材交流を進め、シナジーを発揮しています。特に、アセットマネジメント事業については、長期的に、生命保険事業と並ぶ、もう一つの柱に育てていくつもりです。

3点目は、「日本生命グループの社会的役割の拡大」です。従来から、生命保険事業と資産運用を通じて社会的役割を果たしてきました。今後は、保険事業と親和性のある新たな事業を展開し、「子育て支援」「ヘルスケア」「高齢者対応」などの社会的課題を解決する役割も担っていきたいと考えています。

<皆さんに期待すること>

(1) 仕事はチームです

皆さんが担当する仕事のうち、ひとりだけで完結する仕事はありません。皆さんが所属するチームの他の仕事や別の部署の仕事ともつながり、会社全体の大きな仕事になっていきます。チームで仕事をすることで、まず、仕事の質が上がります。また、チームメンバーの成長にも役立ちます。他のメンバーが手掛ける仕事への理解が進みます。協力し、助け合い、励まし合うことで、連帯感が強まります。

チームで仕事をするにあたって、皆さんに3つ、お願いをしたいと思います。

1点目は、自分の仕事が全体の仕事とどう関わっているかを常に意識してください。

2点目は、議論の場等で、考えや意見を積極的に述べていただきたいと思います。勇気がいりますが、先輩や上司はそれを待っています。いろいろな機会です、躊躇せず積極的に発言していただきたいと思います。

3点目は、先輩や上司のいいところを学び取ってください。考え方、発想、仕事の進め方、議論の仕方、部下や同僚、上司への接し方等、学ぶ取る意識を持って見れば参考になることがたくさん見つかると思います。

(2) 変化を積極的に取込み、改善と変革の担い手になってほしい

改善とは、仕事の仕方を、部分的または段階的に良くすることです。変革とは、仕事の仕方を、あるいは仕事そのものを大きく見直すことです。会社が発展するためにはどちらも重要です。

現在の事業内容や仕事の仕方は、129年間の改善と変革の積み重ねで、先人や先輩方の工夫と努力の賜物を、むやみに変えればいけないというわけではありません。何を守り、何を变えるかは、まさしく経営戦略であり、重要な経営判断であります。全員でアイデアを出し合い、議論を尽くすことが肝心です。これから仕事をする中で疑問が出てくるとは思いますが、疑問を疑問のままに終わらせず、どのように変えればいいのかを自分で考える習慣を身につけてください。今後さらに進むデジタル社会において、保険サービスの内容や提供方法等に関する新たな発想、またグローバルな感性や視点に基づく提案を期待しています。

(3) お客様と社会に誠実に向き合う意識と姿勢を強く持ってほしい

業界の揺るぎないマーケットリーダーであることは、お客様からの信頼の証であり、これからも一層の信頼を獲得し続けていくためには、お客様の声や社会からの要請に対して、真摯に耳を傾け、誠実に対応していく意識を常に持ち、具体的な行動に落とし込んでいくことが求められます。

<人材育成>

日本生命は皆さんの成長を全力でサポートしていきます。私が考える人材育成とは、一人ひとりの良いところを伸ばし、可能性を花開かせることです。3年前から、「人材価値向上プロジェクト」がスタートしており、このプロジェクトの座長は私が務めます。このプロジェクトは「一人ひとりが誇るべき“個”有の強みを持ち、生涯にわたり活躍する“逞しい人材”になる」ことを目指しています。

加えて、皆さんが働きやすい環境づくりとして「働き方改革」と「ダイバーシティの推進」も進めています。

「働き方改革」とは、総労働時間の圧縮と、仕事の質を高める生産性の向上を両立させる取組です。限られた時間の中で、最大の成果を出すことを目指し、全員で取組んでいます。

「ダイバーシティの推進」は、多様な人材が多彩に活躍することが、会社が持続的に発展するための基礎であるとの考えに基づいています。女性やシニアの活躍、介護と仕事の両立など、取組を年々、広げ、深めています。

最後に、私は、お客様や社会の安定を支える生命保険事業に携わっていることに誇りを持っています。日本生命を、皆さんと協力して、もっと素晴らしい会社になりたいと思います。皆さん全員が、これから元気に、生き活きと活躍されることを、心の底から期待しています。

以上